

咽頭結膜熱の流行について（警報）【速報値】

令和5年（2023年）11月15日（水）15:00

北海道富良野保健所

（北海道上川総合振興局保健環境部富良野地域保健室）

電話：0167-23-3161

道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生动向調査を実施しておりますが、令和5年第45週（令和5年11月6日～令和5年11月12日）において、富良野保健所管内の定点あたりの咽頭結膜熱患者報告数が、警報基準である3人以上となりましたので、まん延を防止するため警報を発令します。

今後、富良野保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いいたします。

記

1 咽頭結膜熱受診数 第45週（令和5年11月6日～11月12日【速報値】）

区分	富良野保健所	全道※	全国※
定点あたり患者数	5.50人	563人	7,718人
定点受診患者総数	11人	4.02人	2.45人

※全道、全国数値は第44週（令和5年10月30日～11月5日）の公表値

2 咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱はアデノウィルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜熱といった症状を来す、小児に多い病気です。

プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

通常、6月ころから徐々に流行しはじめ、7～8月にピークとなります。

なお、咽頭結膜熱の流行状況は北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

（URL：<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/601/map.html>）

3 咽頭結膜熱の感染予防

咽頭結膜熱は飛沫感染、接触感染により伝搬するため、流水とせっけんによる手洗いやうがいが有効です。感染者との密接な接触は避けましょう。（タオルなどは別に使いましょう。）

衛生を保つため、プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいをしましょう。

4 参考

（1）咽頭結膜熱の警報とは

厚生労働省の感染症発生动向調査事業の一環として、富良野保健所管内の医療機関（施設数2か所）を受診した咽頭結膜熱患者数を一週間ごとに把握・集計し、あらかじめ定めた警報の基準値を超えた場合に発令します。

警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

【警報の基準】

警報：1定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で3人以上となった場合

※警報発生後は、1定点医療機関あたりの受診患者数が1人以上の場合は警報を継続

（2）最近5週における定点医療機関からの報告状況（表示は「報告数（患者／定点）」単位：人）

	第40週 (10/2～10/8)	第41週 (10/9～10/15)	第42週 (10/16～10/22)	第43週 (10/23～10/29)	第44週 (10/30～11/5)
富良野保健所	0(0.00)	0(0.00)	0(0.00)	1(0.50)	3(1.50)
全道	210(1.50)	258(1.84)	346(2.47)	441(3.15)	563(4.02)
全国	5,846(1.86)	5,505(1.75)	6,811(2.16)	7,656(2.43)	7,718(2.45)